



平成25年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年4月22日

上場取引所 東

上場会社名 KIホールディングス株式会社
コード番号 6747 URL <http://www.koito-ind.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 掛川 隆
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 田地川 章

TEL 045-822-7101

四半期報告書提出予定日 平成25年5月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年9月期第2四半期の連結業績(平成24年10月1日～平成25年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年9月期第2四半期	27,041	△8.3	2,809	10.9	3,155	72.2	2,652	98.8
24年9月期第2四半期	29,485	—	2,534	—	1,832	—	1,334	—

(注) 包括利益 25年9月期第2四半期 4,528百万円 (120.3%) 24年9月期第2四半期 2,056百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年9月期第2四半期	64.01	—
24年9月期第2四半期	32.17	—

(注2) 平成23年9月期は決算期の変更により6ヶ月間の変則決算となっております。これにより平成24年9月期第2四半期の対前年同期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年9月期第2四半期	48,829	11,801	21.6	254.60
24年9月期	44,197	7,272	14.2	151.31

(参考) 自己資本 25年9月期第2四半期 10,557百万円 24年9月期 6,274百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年9月期	—	0.00	—	—	—
25年9月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

(注2) 当社は定款において第2四半期末日及び期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では期末日における配当予想額は未定であります。

3. 平成25年9月期の連結業績予想(平成24年10月1日～平成25年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	46,000	2.0	2,900	48.0	3,000	335.9	2,200	—	53.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(平成25年4月22日)公表いたしました「平成25年9月期第2四半期累計期間 業績予想値と決算値との差異、及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年9月期2Q	41,587,061 株	24年9月期	41,587,061 株
② 期末自己株式数	25年9月期2Q	120,763 株	24年9月期	118,728 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年9月期2Q	41,447,247 株	24年9月期2Q	41,470,420 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(参考)

平成25年9月期の個別業績予想（平成24年10月1日～平成25年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
通 期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
	370	△ 47.8	△ 1,400	—	670	—	1,600	—	38.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有
個別業績予想の修正については、本日（平成25年4月22日）公表いたしました「平成25年9月期第2四半期累計期間 業績予想値と決算値との差異、及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における我が国の経済は、デフレ脱却、円安や株式市況の上昇などの動きが見られたものの、原材料価格の上昇や欧州、新興国等の海外経済の動向に懸念が残る環境で推移いたしました。

このような経済環境のもとで、当社グループのセグメント別売上高は以下の状況となりました。輸送機器関連事業につきましては、鉄道車両機器部門が国内向け、中国高速鉄道事業向けともに売上減となったことにより、前年同期比減となりました。

電気機器関連事業につきましては、照明部門が売上増となったものの、情報システム、交通システム両部門が売上減となったことにより、前年同期比減となりました。

住設環境関連事業につきましては、住設機器部門が売上増となったものの、環境システム部門が売上減となったことにより、前年同期比減となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループ全体の売上高は、前年同期比8.3%減の27,041百万円となりました。

損益につきましては、原価低減及び経費削減の効果等により営業利益は前年同期と比べ増加し、また、経常利益、四半期純利益につきましては、航空事業安全対策費が減少したことに加え為替差益等もあり、前年同期と比べ、それぞれ大幅増となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の資産につきましては、流動資産は売掛金の増加9,147百万円、現金及び預金の減少3,426百万円などにより、前連結会計年度に比べ3,685百万円増加し34,076百万円となりました。また、固定資産は投資有価証券の増加1,366百万円などにより、946百万円増加し14,752百万円となりました。これらの結果、資産合計は前連結会計年度に比べ4,632百万円増加し48,829百万円となりました。

負債につきましては、買掛金の増加2,015百万円、未払金の減少1,747百万円などにより、前連結会計年度に比べ103百万円増加し、37,028百万円となりました。純資産につきましては、その他有価証券評価差額金の増加1,356百万円、四半期純利益2,652百万円などにより、前連結会計年度に比べ4,528百万円増加し、11,801百万円となりました。

また、当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況につきましては、営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権の増加9,253百万円、仕入債務の増加2,432百万円などにより、3,601百万円の使用となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは定期預金の払戻72百万円などにより、50百万円の増加となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは少数株主への配当金の支払331百万円などにより、366百万円の使用となりました。

これらの結果、現金及び現金同等物の当第2四半期連結会計期間末残高は3,104百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,823百万円の減少となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績予想につきましては、以下のとおり修正を行っております。

売上高、利益ともに、第2四半期累計期間における差異に加え、最新の市場環境等も加味し、予想を修正するものであります。

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	46,500	3,000	2,200	1,260	30.38
今回修正予想 (B)	46,000	2,900	3,000	2,200	53.08
増減額 (B-A)	△500	△100	800	940	—
増減率 (%)	△1.1	△3.3	36.4	74.6	—

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

当社は、平成22年2月に国土交通省航空局より航空機シートの設計・製造過程に係る業務改善勧告を受け、運航中座席の安全性の確認作業、品質管理体制の再構築を最優先に取り組んでまいりました。

その結果、当社グループはこれらの諸施策への対応費用や、たな卸資産の廃棄処理費用等により、前々連結会計年度では2,640百万円、前連結会計年度では816百万円の当期純損失を計上いたしました。当第2四半期連結累計期間においては2,652百万円の四半期純利益を計上いたしました。

しかしながら、訴訟係属中の2社(全日本空輸株式会社、Thai Airways International Public Company Limited)をはじめとするエアラインからの賠償請求は継続しており、当第2四半期連結会計期間末における損害賠償引当金は、手元流動性に対して高水準の債務となっております。

当該状況により、継続企業の前提に関する重要な疑義を生じさせるような状況が当第2四半期連結会計期間末においても存在しております。

当社といたしましては、当該状況を解消すべく、平成23年8月1日に、航空機シート事業以外の輸送機器関連事業、電気機器関連事業及び住設環境関連事業を会社分割により、コイト電工株式会社として分社化いたしました。また、固定費低減を目的に、平成24年8月に希望退職の募集を実施し、総勢188名が退職いたしました。

当該分社化及び希望退職の実施により、当社は事業価値の維持・向上に努めると共に、コスト競争力の回復と活力のある組織による製品開発、販売の拡大に努め事業基盤の強化を図ってまいります。

また、航空機シートの納入遅延に伴い当社が提訴されております訴訟につきましては、法的手続きに則り、適切に対処してまいります。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,100	2,674
受取手形	2,900	3,052
売掛金	11,227	20,374
有価証券	900	430
製品	3,317	2,565
仕掛品	2,725	2,195
原材料及び貯蔵品	2,705	2,380
繰延税金資産	81	88
その他	515	426
貸倒引当金	△83	△112
流動資産合計	30,390	34,076
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	3,750	3,613
構築物(純額)	34	31
機械装置及び運搬具(純額)	311	279
工具、器具及び備品(純額)	241	193
土地	3,059	3,059
有形固定資産合計	7,396	7,177
無形固定資産		
電話加入権	26	26
その他	473	345
無形固定資産合計	499	371
投資その他の資産		
投資有価証券	5,134	6,500
保険積立金	82	91
繰延税金資産	108	112
その他	613	522
貸倒引当金	△27	△23
投資その他の資産合計	5,910	7,203
固定資産合計	13,806	14,752
資産合計	44,197	48,829

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成24年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	2,046	2,803
買掛金	5,747	7,763
短期借入金	5,100	6,950
1年内返済予定の長期借入金	1,857	1,054
未払金	1,875	127
未払費用	1,298	1,223
未払法人税等	468	490
前受金	1,466	866
預り金	62	54
賞与引当金	132	311
役員賞与引当金	1	—
設備関係支払手形	3	7
その他	1,121	765
流動負債合計	21,181	22,417
固定負債		
長期借入金	1,236	155
退職給付引当金	6,077	6,022
役員退職慰労引当金	199	201
環境対策引当金	199	199
損害賠償引当金	7,960	7,960
長期預り保証金	64	64
その他	5	7
固定負債合計	15,743	14,610
負債合計	36,924	37,028
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,214	9,214
資本剰余金	8,211	8,211
利益剰余金	△10,709	△8,056
自己株式	△43	△43
株主資本合計	6,673	9,325
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△247	1,109
為替換算調整勘定	△151	122
その他の包括利益累計額合計	△398	1,231
少数株主持分	998	1,244
純資産合計	7,272	11,801
負債純資産合計	44,197	48,829

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年3月31日)
売上高	29,485	27,041
売上原価	24,423	21,875
売上総利益	5,062	5,166
販売費及び一般管理費	2,527	2,356
営業利益	2,534	2,809
営業外収益		
受取利息	63	87
受取配当金	14	16
為替差益	100	379
雑収入	103	120
営業外収益合計	281	604
営業外費用		
支払利息	39	44
航空事業安全対策費	595	178
雑損失	349	35
営業外費用合計	983	258
経常利益	1,832	3,155
特別利益		
投資有価証券売却益	7	—
その他	0	0
特別利益合計	7	0
特別損失		
固定資産除却損	1	3
その他の投資評価損	0	—
特別損失合計	2	3
税金等調整前四半期純利益	1,837	3,151
法人税等	416	458
少数株主損益調整前四半期純利益	1,421	2,693
少数株主利益	87	40
四半期純利益	1,334	2,652
少数株主利益	87	40
少数株主損益調整前四半期純利益	1,421	2,693
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	448	1,356
為替換算調整勘定	185	479
その他の包括利益合計	634	1,835
四半期包括利益	2,056	4,528
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,886	4,283
少数株主に係る四半期包括利益	169	245

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,837	3,151
減価償却費	374	387
貸倒引当金の増減額(△は減少)	82	23
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△243	△53
賞与引当金の増減額(△は減少)	301	177
受取利息及び受取配当金	△78	△104
支払利息	39	44
投資有価証券売却損益(△は益)	△7	—
有形固定資産売却損益(△は益)	1	3
売上債権の増減額(△は増加)	△8,453	△9,253
たな卸資産の増減額(△は増加)	3,486	1,969
仕入債務の増減額(△は減少)	1,018	2,432
前払費用の増減額(△は増加)	43	△32
未払金の増減額(△は減少)	△22	△1,750
未払費用の増減額(△は減少)	156	△127
その他	396	△177
小計	△1,069	△3,307
利息及び配当金の受取額	62	83
利息の支払額	△38	△44
損害賠償金の支払額	△464	—
法人税等の支払額	△176	△332
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,685	△3,601
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△42	△30
有形固定資産の売却による収入	—	0
無形固定資産の取得による支出	—	△0
投資有価証券の取得による支出	△3	△2
投資有価証券の売却による収入	8	—
定期預金の払戻による収入	—	72
その他	△74	10
投資活動によるキャッシュ・フロー	△111	50
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	5,100	10,800
短期借入金の返済による支出	△3,254	△10,807
長期借入金の返済による支出	△14	△27
配当金の支払額	△0	—
少数株主への配当金の支払額	△39	△331
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,790	△366
現金及び現金同等物に係る換算差額	45	92
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	39	△3,823
現金及び現金同等物の期首残高	4,884	6,928
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,923	3,104

(4) 継続企業の前提に関する注記

当社は、平成22年2月に国土交通省航空局より航空機シートのご設計・製造過程に係る業務改善勧告を受け、運航中座席の安全性の確認作業、品質管理体制の再構築を最優先に取り組んでまいりました。

その結果、当社グループはこれらの諸施策への対応費用や、たな卸資産の廃棄処理費用等により、前々連結会計年度では2,640百万円、前連結会計年度では816百万円の当期純損失を計上いたしました。当第2四半期連結累計期間においては2,652百万円の四半期純利益を計上いたしました。

しかしながら、訴訟係属中の2社(全日本空輸株式会社、Thai Airways International Public Company Limited)をはじめとするエアラインからの賠償請求は継続しており、当第2四半期連結会計期間末における損害賠償引当金は、手元流動性に対して高水準の債務となっております。

当該状況により、継続企業の前提に関する重要な疑義を生じさせるような状況が当第2四半期連結会計期間末においても存在しております。

当社といたしましては、当該状況を解消すべく、平成23年8月1日に、航空機シート事業以外の輸送機器関連事業、電気機器関連事業及び住設環境関連事業を会社分割により、コイト電工株式会社として分社化いたしました。また、固定費低減を目的に、平成24年8月に希望退職の募集を実施し、総勢188名が退職いたしました。

当該分社化及び希望退職の実施により、当社は事業価値の維持・向上に努めると共に、コスト競争力の回復と活力のある組織による製品開発、販売の拡大に努め事業基盤の強化を図ってまいります。

また、航空機シートの納入遅延に伴い当社が提訴されております訴訟につきましては、法的手続きに則り、適切に対処してまいります。

上記の対応を進め、着実に実行することにより、当該状況の解消、改善に努めてまいります。

しかしながら、これらの対応策は実施途上であり、現時点では、継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められます。

なお、四半期連結財務諸表は継続企業を前提として作成されており、継続企業の前提に関する重要な不確実性の影響を四半期連結財務諸表には反映しておりません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年10月1日至平成24年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益及び包括 利益計算書 計上額 (注) 2
	輸送機器 関連事業	電気機器 関連事業	住設環境 関連事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	8,918	19,236	1,330	29,485	—	29,485
セグメント間の内部売上高 又は振替高	861	844	0	1,706	△1,706	—
計	9,780	20,081	1,330	31,192	△1,706	29,485
セグメント利益	245	2,763	35	3,045	△510	2,534

(注) 1. セグメント利益の調整額△510百万円は、各報告セグメントに配分していない提出会社の管理部門等に係る費用です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成24年10月1日至平成25年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益及び包括 利益計算書 計上額 (注) 2
	輸送機器 関連事業	電気機器 関連事業	住設環境 関連事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	7,503	18,382	1,155	27,041	—	27,041
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,153	862	—	2,015	△2,015	—
計	8,657	19,244	1,155	29,057	△2,015	27,041
セグメント利益	504	2,712	101	3,318	△508	2,809

(注) 1. セグメント利益の調整額△508百万円は、各報告セグメントに配分していない提出会社の管理部門等に係る費用です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。